

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

2018-8	本研究の名称	糖尿病患者における骨密度検査の長期観察での結果に関する検討
	当院の研究責任者 (所属)	齋藤 裕志 (放射線科)
	他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
	本研究の目的	骨粗鬆症の成因は、年齢や女性の閉経後のホルモン低下・運動不足による生活習慣病などで、原因となる疾患としては糖尿病もそのひとつであることが挙げられています。当院の骨粗鬆症検査は、日本骨粗鬆学会推奨の腰椎ならびに大腿骨 DXA 法で行っていますが、腰椎と大腿骨のBMD値(骨密度)結果に差異がみられることがあります。このような症例はどの程度存在するか、またその原因については不明であるため、長期に経過観察をし得た患者を対象にこれらを調査・分析します。
	調査データ 該当期間	2009年1月～2018年12月(予定)
	研究の方法 (使用する試料等)	一般診療でオーダーされた骨密度検査で5回以上の検査歴のある患者様を対象に、腰椎・大腿骨頭それぞれのBMD値を経時的に比較し差異の生じる原因を測定画像で分析します。加えて、性差・年齢などの影響因子についても検討します。
	試料/情報の他の 研究機関への提供	なし
	個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
	本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にあたる企業等はありません。
	お問い合わせ先	電話：011-231-4032(代) 担当者：齋藤 裕志